

国土交通大臣賞

「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

株式会社竹中工務店 名古屋支店 三重大学（医病）病棟・診療棟新営その他工事作業所

所在地

三重県津市

受賞テーマ

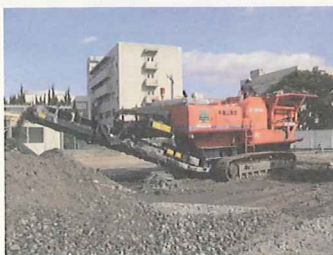
エコ日本一大学建設現場における環境に配慮した工法の実施による 3R 活動

同プロジェクトは、三重大学医学部附属病院の建替え工事である。この新病院は三重大学のキャンパス内にあり、工所用資材の搬出入動線は市街地とキャンパス内を通ることから第三者の通行の安全確保、周辺住民や学内に対する騒音を極力抑える等の厳しい制約があった。これらの条件を考慮し、環境配慮の面では「現場内で発生する建設副産物の発生抑制・再利用・再資源化」「現場内で発生する施工騒音・振動・粉塵の発生抑制」「工事車輛の交通対策と本院利用者の交通安全確保」を軸に工事を進めた。

主な活動内容

- ・小梁、犬走り、ヘリポート等の部材の PC 化を積極的に行い、生コン車及び生コン打設用ポンプ車の台数を低減し、運行に伴う CO₂ 排出量を抑制した。
- ・軽量鉄骨、ALC 等の材料を事前に工場ではプレカット加工し搬入を行うことによって、現場加工で発生する残材廃棄物を大幅に低減した。
- ・ユニットバス、建具枠等の材料搬入時の梱包材廃棄物を低減するため、無梱包化・簡易梱包化を推進した。
- ・南洋材ベニア型枠の使用を抑制するため代替工法を数多く採用することによって、森林資源の保全に貢献した。
- ・既存建物解体時に発生するコンクリートガラを再生砕石としてリサイクル利用した。
- ・掘削時に発生する建設発生土を建物外周埋め戻し土、地盤改良材に再利用し、場外への搬出を抑制することで CO₂ 排出削減を推進した。
- ・廃棄物の再生利用を促進するために、廃棄物集積ヤードに誰にでも分かりやすい分別看板を設置した。また、協力会社の職長で組織するリーダー会運営により同社と協力会社が一丸となり分別指導を実施した。
- ・分別収集したゴミは廃棄物処理工場において固形燃料にリサイクルした。
- ・騒音測定や振動測定を 24 時間継続的に行い、周辺環境への影響を数字で把握することでその抑制に努めた。
- ・一般の PC からでも閲覧できる車輛搬入予定表管理サイトを開設。Web 上にて車輛を事前報告することで、事前に搬入台数を調整し、運搬車輛台数を低減。場内の車両、重機に対して、アイドリングストップ運動を徹底して実施した。
- ・加工不要なサイズの鉄筋については、事前に選別し、長尺のままメーカーから作業所に直送させることで、加工場への運搬車輛を低減し、CO₂ 排出抑制を推進した。
- ・作業所周辺だけでなく大学構内の草刈やゴミ拾いを三重大学職員、学生、当社職員、作業員（直営会社含む）共同で定期的に行い、環境美化運動を推進した。
- ・休憩所の照明器具に人感センサーを設置し、無駄な電力の消費を抑制した。
- ・仮設事務所、休憩所のトイレに雨水、地下水を利用し、粉じんの発生を抑制した。
- ・搬出入車輛用のタイヤ洗浄等の洗浄水に地下水を有効利用した。

別発注の三重大学構内建物改修工事での建設発生土、コンクリートガラなどを新病院工事と連携し、外構工事用埋め戻し土、路盤材として有効活用した。



リユース（再利用）：解体材の再利用